

令和5年度 第2回瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会 会議録

日 時：令和5年10月19日（木）13時～14時

会 場：瑞浪市化石博物館 別館研修室

出席者 <協議会委員> 柴田 増三（社会教育関係者）（会長）

小栗 茂 （学識経験のある者）

島村 節男（学識経験のある者）

加納 礼爾（学校教育関係者）

<事務局> 水野 義康（館長）・安藤 佑介

欠席者 <協議会委員> 西尾 京子（家庭教育の向上に資する活動を行う者）

### 1 あいさつ

館長より開会の挨拶がなされた（内容は省略）。

柴田会長より挨拶がなされた（内容は省略）。

### 2 報告事項

令和5年度事業中間報告について

#### 1) 普及活動の充実

##### ・②講座の開催

委 員：彫刻講座の上級編は、参加者が少ないが理由は何か。まだ2回目であるため、来年も開催してほしい。

事務局：「上級」という言葉が高度な難しい内容の講座という印象にしまっているため、参加者が少ないと思われる。来年は内容やタイトルを再考する。

### 3 協議事項

令和6年度事業計画について

#### 1) 普及活動の充実

##### ・①企画展の開催

委 員：陶彫展で展示する作品は何点を想定しているか。

事務局：まだ検討中であるが、第二展示室で開催するため、スペースに合った点数を用意する。

委 員：今後は、市之瀬氏の作品をはじめとして過去に瑞浪市に関わった方の遺作展を行ってみてはどうか。

事務局：今後検討していきたい。

委 員：陶彫作品のみだと初めて来館する方が市之瀬氏の本来の仕事が何かわからない。ブロンズ作品も展示してほしい。

事務局：ご意見を参考に検討する。

・②講座の開催

委員：大人も参加できる内容のワークショップを検討してほしい。

事務局：全ての講座は小学生から参加でき、大人でも十分楽しめる内容である。今後は広報や講座の紹介文を工夫する。

委員：初級編・上級編ではなく、入門編・応用編としてみてはどうか。

事務局：提案に従って来年は入門編・応用編とする。また、大人も参加できる内容である旨を広報などで説明する。